

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	宍粟市立神野小学校 教諭 阿曾 奈生	研究グループ名 (神野小授業改善チーム)
-----------------	-----------------------	---------------------------

研究テーマ分類番号 (1)

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ	
「筋道立てた思考ができ、豊かに表現できる子どもの育成」 ～ 数学的コミュニケーション活動の中に算数的活動を効果的に取り入れて～	
(2)研究経過及び具体的な取組	
4月24日(火)	重点取組課題の決定 ・内 容：本年度の研究の進め方について話し合い、昨年度の反省をもとに、本年度重点取り組み課題を決定した。そして、個々の授業力量、研究推進方法等、問題点の洗い出しを行った。授業研究については、前半は、主眼を算数科に置き、講師を招聘することで授業改善や研究の方向性についての指導助言をいただくこととした。さらに、昨年度より取り組みを進めている、「神野タイム」を活用してペアトークを行い、対話能力を高める活動を、本年度も取り入れ、授業のみならず、全教育活動にも取り入れることを全職員で共通理解した。
5月18日(金)	自主研究発表会の検討 ・内 容：6月22日(金)開催の自主研究発表会の持ち方について検討した。特に、学級担任がお互いに授業参観できる「5分間参観」等を積極的に取り入れ、お互いが学び合う仲間として前向きに授業研究に取り組むことを確認した。指導案作成に当たっては、児童の実態については、事前アンケート結果や事前テスト結果の分析とその対応などの具体的資料を載せ、さらに、研究主題と本授業との関連についての一項目を設け、この授業を通して育てたい力や態度の育成等について具体的に記述するようにした。また、授業公開の視点を明確にすることによって、個人思考の深まり、対話活動の効果的なあり方、練り上げる活動を通して数学的な思考力・表現力を高める、などを考察するようにした。同時に、全体会の持ち方についても検討を深めた。
6月22日(金)	自主研究発表会 ・内 容：自主研究発表会を行った。県内西播磨管内の小学校に参加依頼を行い多くの参加を得た。各学年の授業公開に先立って、今までの研究の経過並びに本日の授業参観の視点等についての発表を行った。その後、各学年の授業を公開し、全体会にて低学年部(1～3年生)と高学年部(4～6学年生)に分かれて分科会を行った。多くの参加を得て、研究の一端を見ていただき、問題提起の一助となった。 ・成果と課題：実践発表を通して、神野小がとらえる「3つの学力(見える学力 つなぐ学力 見えない学力)」についての研究を

深めることができた。また、同時に授業の中に対話活動を効果的に取り入れたことによって、児童の思考の深まりに効果が見られた。課題としては、算数科だけでなく他の教科学習にどう繋げていくか。対話活動をいろいろな教育活動の中で効果的に活かすための方策にどう取り組むかが挙げられる。

7月11日(水) 今後の取り組みの検討

- ・内 容：自主研究発表会の成果と課題を踏まえ、今後の取組について検討していった。

8月24日(金) 夏季校内研修会

- ・内 容：講師を招聘し、6月の自主研究発表会における総括と今後の取り組むべき課題についての指導を受けた。特に、「問題解決能力」や「数学的能力」について指導を受けた。また、「不易」な部分と「流行」の部分とをしっかりとわきまえ、変えるべきことは意識的に変えていく必要があること、「個性」と「個人差」の違い等を見極める力をつける必要があることなど、授業改善に向けた教示を仰いだ。
- ・講 師：元ノートルダム清心女子大教授

校内授業研究会

- (1) 4月27日(金) 5年生算数科「式と計算」
- (2) 7月 6日(金) 4年生算数科「小数」
- (3) 10月17日(水) 1年生算数科「おおきさくらべ」 6年生算数科「比例と反比例」
- (4) 11月 2日(金) 3年生算数科「2位数×1位数の筆算」